

議案第 1 号関係資料

平成 28 年度

多賀城市教育基本方針及び

教育重点目標に係る主な実績

多賀城市教育委員会

多賀城市教育基本方針

教育基本法の精神に基づき、

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、幅広い知識と教養を身に付け、真理と正義を求める心を持ち、自主・自律と公共の精神に満ちた人格の形成を図る。

あわせて、市民が「未来を育むまち史都多賀城」の歴史・文化を継承し豊かな心を育むまちの実現のために活動できる環境整備に努める。

平成29年度教育重点目標

※「平成28年度教育重点目標」から、朱書き訂正した箇所が変更になっています。

※「多賀城市第五次総合計画」の施策の柱に合わせるため、1と2を入れ替えています。

1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

子どもたちが生き生きと安全に暮らしていくためには、学校・地域・家庭が手を取り合い、協力しながらともに良い教育環境を作っていくことが必要である。学校支援地域本部事業や放課後子ども教室推進事業により協働教育の取組が進行し、平成27年度までに市内すべての小中学校で事業が実施されている。この取組の充実・発展を図る。

このため、次の施策を行う。

(1) 学校・地域が連携した子どもたちの育成

- 学校支援地域本部事業の推進
- 地域教育協議会の開催
- 地域コーディネーター、学校支援ボランティアの育成
- 広報啓発活動
- 防災キャンプの実施

(2) 放課後等の安全・安心な居場所づくり

- 放課後子ども教室の開設
- スタッフの育成・支援

(3) 家庭教育力の向上

- 基本的な生活習慣の実践
- 家庭教育事業の実施

(4) 青少年の健全育成

- ジュニアリーダーとインリーダーの育成・支援
- 巡回指導の実施

2 学校教育の充実

ひろい心、健やかな体、豊かな人間性と創造力を備えた児童生徒の育成を目指し、基礎的・基本的な幅広い知識と教養を身に付け、社会の変化に主体的に対応できる能力及び思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」の定着と個性を伸ばす教育の充実を図る。

また、国際的視野をもち、生涯にわたり自ら学ぶ意欲と態度、郷土愛と豊かな人間関係を培う教育の推進を図るとともに、教職員の英知と創意を生かし、地域社会に開かれた特色ある学校づくりと子どもたちの「生きる力」をはぐくむ学校教育の実現に努め、「多賀城を知り多賀城を語る児童生徒」の育成に努める。

なお、東日本大震災は、児童生徒及び教職員の心身、地域・家庭を取り巻く環境や教育活動に、今もなお大きな影響を与えていることから、児童生徒等の心のケアを充実させるとともに、円滑な学校運営の支援に努める。

このため、次の施策を行う。

※施策の項目を第五次総合計画の施策の基本事業名に合わせました。

(1) 郷土愛を育む教育の推進（地域に開かれた、特色ある多賀城らしい教育の施策）

- 多賀城を知り多賀城を語る児童生徒の育成
- 多賀城らしい理科教育の推進
- 多賀城らしい国際理解教育の充実
- 保護者、地域の信頼に応える学校づくり

(2) 教育の質の向上（「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ教育の施策）

- 教職員の授業力の向上
- 個に応じた学習指導の推進
- 体験活動の充実
- 家庭学習の啓発支援
- 自己肯定感や自尊心を高める道徳教育の推進
- 「語りかけて励まし、認めて育てる」、心のかよいあう生徒指導の推進
- 一人ひとりが生き生きと活躍できる、いじめのない集団づくりの推進
- とともに学び、ともに育つ特別支援教育の推進

(3) 健康づくりと食育（「健やかな体」を育てる健康教育の施策）

- 児童生徒等の健康診断の実施、学校保健会活動の支援
- 健康的な生活習慣の形成
- 学校給食に係るハード、ソフト両面の安全確保
- 給食センターと学校が連携した食育の推進

(4) 教育相談体制の充実

- 震災による心への影響の実態把握と適切なケアの推進
- スクールソーシャルワーカーを中心とした相談体制の充実
- 不登校、いじめ対策としての心のケアハウスの運営
- 保護者、地域の信頼に応える学校づくり

(5) 安心・安全な教育環境の整備

- 学校施設の計画的な整備
- 安全で安心して学ぶことのできる教育施設の整備
- 防犯・防災教育、安全教育の推進

(6) 新たな時代に対応するための取組推進

- 各種支援員等の適切な配置
- 児童生徒の学校満足度心理検査（Hyper-Qu）の実施

3 生涯学習の推進

急速な技術革新の進展や膨大な情報により社会環境が変化する中であって、賢く、楽しく、生きがいを持って生きていくためには、一生を通じて学び続ける必要があり、学ぶことによって「生活の質」を高めることができる。そこに生涯学習の意義がある。

生涯学習の拠点となる公民館や図書館、体育館などの社会教育施設については、市民が学びを通じて交流する場として相応しい施設整備を図り、多様な学習メニューを用意するほか、利用者が自らの課題を解決する学びを支援する。

特に、文化交流拠点のうち、知の拠点を担う新市立図書館にあつては指定管理者制度による新展開を開始し運営を安定的に行い、また、芸術文化の拠点を担う文化センターにあつては同制度による第2期として深化を目指すなど、民間のノウハウを活かし、更なる「学び」や「芸術文化」の充実を図る。

このため、次の施策を行う。

(1) 学習機会の充実

- 市民のライフステージに対応した生涯学習・社会教育事業の実施
- 今日的な社会課題や生活課題に対応した生涯学習・社会教育事業の実施
- 全国高等学校総合文化祭（日本音楽部門・吹奏楽部門）の運営

(2) 市民創造型生涯学習の推進

- 自主的・自律的な市民団体・サークルの育成支援
- 市民団体等による事業の支援

(3) 芸術文化の振興

- 市民の教養と豊かな情操を培うための芸術鑑賞機会の提供
- 市民自らが取り組む芸術文化活動の支援

(4) 生涯学習施設の運営

- 施設・設備の充実
- 利用者サービスの充実とマナーの向上
- 大代地区コミュニティ推進協議会事業計画に基づいた事業

(5) 文化交流拠点中核施設の運営

- 東北随一の文化交流拠点施設としての市立図書館の運営
- 施設設備の充実と学習・交流機会の提供

4 スポーツの振興

市民の健全な心身と健康の保持・増進を図るためスポーツ活動を推進し、多種目・多世代・多目的でつくる市民スポーツ社会を実現する。

スポーツ事業を実施し、人と人との交流や地域間の交流を促進し、活気あふれる元気なまちづくりを目指す。

このため、次の施策を行う。

- (1) スポーツ機会の充実
 - 総合型地域スポーツクラブの理念に基づくスポーツレクリエーション活動の振興
 - 市民が参画し主体となるスポーツ推進体制の充実
 - 教室講座、事業の充実
 - 見るスポーツ、サポート活動の振興
 - 全国高等学校総合体育大会（女子バレーボール競技）の運営
- (2) 社会体育施設等の施設環境の充実
 - 施設・設備の充実
 - 地域に根ざしたきめ細かなスポーツサービスの充実
 - スポーツ団体の支援

5 文化財の保存と活用

文化財を適正に保存・活用することは、市民の歴史文化に対する意識の向上に繋がり、ひいては本市の個性豊かな魅力あるまちづくりに大きく寄与するものである。

よって、東日本大震災からの復興に向けて、歴史、文化を活かしたまちづくりを推進するため、郷土の貴重な遺産である文化財を保護・継承し、関係部署等との連携のもと、その活用を図る。また、震災復興のシンボルともなる特別史跡多賀城跡復元整備事業への取組みを進める。

このため、次の施策を行う。

- (1) 特別史跡の公有化及び史跡地内の景観保全
 - 特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画に基づく公有化の促進
 - 地域等との連携による史跡地内の景観保全
- (2) 特別史跡多賀城跡復元整備事業の推進
 - 多賀城南門等復元整備検討委員会議の開催
 - ガイダンス施設建設に係る地盤調査の実施
- (3) 文化財保護意識の普及啓発
 - 特別史跡指定50周年埋蔵文化財調査センター設立30周年を記念した展示会等の開催
 - 市民と一体となった文化財保護意識の普及啓発
- (4) 文化財調査の実施と保存活用の推進
 - 埋蔵文化財の調査、保存、活用
 - 名勝おくのほそ道の風景地「壺碑（つぼの石ぶみ）・興井・末の松山」の保存、活用
 - 歴史遺産（石碑・民俗資料・古文書等）の調査、保全
- (5) 埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）の管理運営
 - 収蔵資料を活用した体験学習の充実と展示公開

平成28年度
多賀城市教育基本方針及び教育重点目標に係る主な実績

1 学校教育の充実

(1) 「確かな学力」をはぐくむ教育の推進

○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」「使える」授業の実践 ・家庭学習の手引きの作成など家庭学習の充実 ・朝学習・朝読書の充実 ・「教え合い、学び合い」の場の設定と実践 ・読み取る力を向上させる授業の実践 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「見通し」「振り返り」を位置付けた授業を行う事で、意欲の喚起と授業内容の確実な定着を図ることができた。 ・家庭学習の習慣化が学ぶことへの意欲につながり、基礎・基本の定着につながってきている。 ・「教え合い、学び合い」によって、思考力・表現力が高まってきている。

○ 学習に対する関心・意欲の向上

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の学習指導の構築 ・学習への動機づけを重視した導入の工夫 ・学習習慣の定着を図る工夫 ・体験的な活動を取り入れた授業の展開 ・ペア学習・グループ学習の導入 ・学習計画表の活用 ・公開研究会への参加 ・校内の学力向上・指導力向上・指導法工夫改善の研修会の実施 ・学習の手引き等を作成し、学び方の指導を実施 ・主として小学校の3、4年生の学習遅延傾向にある児童に対して、学習個別支援員が教師に協力し、きめ細かな個別指導等を実践 ・小学校において、理科の実験等において理科支援員が教師を補助し、児童の理科への興味・関心を向上 	多賀城学習個別支援事業 6,727千円 小学校理科支援事業 2,690千円	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の学習指導、体験的な活動やペア・グループ活動を取り入れた授業を行うことにより、児童生徒が主体的に学ぶようになり、知識の定着が図れた。 ・授業のねらいやめあてがわかることにより、明確な課題を持って授業に臨むようになった。 ・各校で創意工夫した研究・研修を行い、実践に対して指導助言を行うことにより、教員の指導技術と共に日頃の授業づくりへの意欲が高まった。 ・研修内容の伝達講習を積極的に行うことで有効な手だてを共有することができた。 ・学習個別支援員が、個別指導をすることにより、定着に時間のかかる児童・生徒の学力が向上すると共に、授業をより円滑に進めることができるようになった。 ・理科支援員のきめ細かなサポートにより、理科に対する興味・関心が高まり、自主的に学習に取り組む児童・生徒が増えた。

○ 教職員の授業力の向上

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・教師の授業力の向上のための校内研究の充実 ・教育研修センター等各種研修機関で開催される研修会への参加 ・公開研究会への参加 	多賀城市教職員研修補助事業 270千円	<ul style="list-style-type: none"> ・校内全体や各学年において研究授業を行う中で、良い授業づくりを行うための研修が深められた。また、事前や事後の授業検討会で成果や課題を見出すことにより、教職員の指導力が向上し、指導法

<ul style="list-style-type: none"> ・校内の学力向上の研修会の実施 ・授業づくり研修会の実施 ・全教職員研修会、I C T活用研修会、新採・転入教職員研修会、教育研究論文表彰式及び学校運営研修会、非常勤職員研修会の実施 	学校教育指導事業 4,869千円 教職員研修事業 2,980千円	の工夫改善が図られた。 ・学校課題や教員のニーズに対応した研修を行うことで教師の指導力の向上が図られた。
---	---	---

○ 個に応じた学習指導の支援

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、次のような指導方法や指導体制の工夫改善を行い、個に応じた指導の充実 ・少人数指導 ・T T指導 ・習熟度別指導 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を行うことにより、定着に時間のかかる児童生徒の学力が向上してきた。 ・少人数指導：一人一人に目が行き届くため、児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導ができ、学習効果が高まった。 ・T T指導：教員1人では対応しきれない個別指導やグループ指導を行うことができ、学習効果が高まった。 ・習熟度別指導：児童生徒の実態に応じた指導を行うことができ、学習効果が高まった。

○ 自ら学び、自ら考える力をはぐくむ「体験的な活動の充実」

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に自然体験や奉仕活動、社会体験、職場体験を計画的に位置づけ、学ぶ意欲の向上 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・集団宿泊体験、農業体験活動等を通して主体性や協力性を高めることができた。 ・主体性や協力性が高まったことで、自発的な奉仕活動も見られるようになってきた。 ・働くことの厳しさや尊さ、喜びを学ぶとともに、職業に対する意識が高まった。

○ 家庭学習の啓発支援

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・東北学院大学との連携による、夏季、冬季休業期間における自主学習支援のための学習会（多賀城スコール）の実施と充実 ・初任者・講師等対象研修会の実施 ・家庭学習の手引きの活用 ・家庭学習を定着させるための「家庭教育講演会」の開催 	自主学習支援事業 1,082千円	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間における多賀城スコールでは、自ら学習しようとする意欲が見られ、サマースクールを通して自分から勉強しようという気持ちになった小学生は90.0%、中学生は95.5%に達した。 ・初任者・講師等対象研修会を3回実施し、アンケート調査から「大変有意義な研修であり、今後も継続してほしい」という意見が多かった。 ・家庭教育講演会において子どもたちへの保護者・教員の関わり方を話していただき、家庭・学校における指導力の向上につながった。

(2) 「豊かな心」をはぐくむ心の教育の推進

○ 「語りかけて励まし、認めて育てる」、心のかよいあう生徒指導の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の育成、定着に関する指導（学習態度・「早寝、早起き、朝ご飯」等） ・ 自己有用感を持ち、共感的人間関係を築き、自己決定できる児童生徒の育成 ・ 定例生徒指導部会での共通理解 ・ 不登校児童、生徒への対応（継続的な家庭訪問等） ・ 学校生活アンケートの実施と早期対応 ・ 「心の教室相談員」「中学校学校生活指導支援補助員」「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」との連携 ・ 校外の生活に関する指導 	<p>心の教室相談員活用事業 1,338千円</p> <p>中学校学校生活指導支援事業 2,409千円</p> <p>スクールカウンセラー活用調査研究事業 257千円</p> <p>スクールソーシャルワーカー活用事業 4,709千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒指導の状況について定期的に情報共有を行うことで、常に共通理解が得られ、指導の徹底が図られた。 ・ 積極的な生徒指導に努め、児童生徒は生き活きと学校生活を送っている。 ・ いじめの早期発見、早期対応に取り組み、児童生徒が安心して学ぶことができる学校づくりに努めた。 ・ 前年度不登校児童生徒に対して、特に配慮して指導に当たると共に、家庭と連携を図りながら不登校児童生徒が減少するよう努め、登校できた、登校の兆しが見えてきた児童生徒がいる。 ・ 各種相談員等が児童生徒・保護者・教員の相談を受け、アドバイスをするなどし、改善している事例が数多くみられた。

○ 発達に応じた基本的生活習慣、公共心、規範意識の育成

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校学校生活指導支援補助員との連携 ・ 基本的生活習慣の育成指導（学習態度、集団生活のきまり） ・ 「月別生活目標」の掲示と生徒へ適宜確認 ・ 生徒指導の重点目標の設定 ・ 中学校学区の講演会や地区懇談の実施 ・ 「あいさつ運動」の実施 ・ 道徳の授業の充実 	<p>中学校学校生活指導支援事業 2,409千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校学校生活指導支援補助員との連携により、中学校1年生が学校生活に対応できるよう、きめ細かな生活支援ができています。 ・ 職員会議等で共通理解を図り、全職員で一致した対応ができた。生徒の規範意識が高まっている。

○ 豊かな心をはぐくむ体験活動の充実

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間での体験活動（お年寄りとの交流会等） ・ 福祉活動（盲導犬・手話・車いす体験・視覚障害者体験・老人福祉施設訪問等） ・ 全校奉仕活動の実施 ・ 道徳の授業の充実 	<p>総合的な学習の時間 418千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な交流体験を通し、思いやりや感謝の心が育ってきている。 ・ 全校奉仕活動等を通し、地域や社会に貢献する心が育ってきている。

○ ともに学び、ともに育つ特別支援教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・交流学習の実施 ・居住地校交流（利府支援学校の児童）の実施 ・特別支援教育支援員との連携 ・特別支援教育の教員対象の研修 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした、特別支援教育担当教員の教育相談 	小学校特別支援教育支援事業 23,943千円 中学校特別支援教育支援事業 6,446千円	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級在籍の児童生徒における特別支援学級在籍児童生徒に対する理解が深まり個性や特性を認め共に育っていこうとする気持ちが高まってきた。 ・支援員等の配置により、特別な支援を要する児童生徒に対してきめ細かな指導ができると共に、交流学習が充実し、互いの理解を深めながら共に学ぶ学校の環境づくりが進んだ。

(3) 「健やかな体」を育てる健康教育の推進

○ 健康的な生活習慣の形成と学校保健教育の充実

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断等を通し、健康と予防・治療に関する指導 ・「早寝、早起き、朝ごはん」の運動の推進 ・体力テスト（スポーツテスト）の活用 	健診等5事業 22,173千円	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な体づくりについて児童生徒、保護者を指導、啓発してきたことで意識が向上している。

○ 学校給食の更なる安全性の確保と学校と連携した栄養指導の充実

事業概要	決算見込額	評価等																
<ul style="list-style-type: none"> ・「安全安心な給食」を提供するため、「学校給食衛生管理基準」と「大量調理衛生マニュアル」等の基準に基づく、給食調理の実施 ・産地が明示された、鮮度のより衛生的な給食食材の納入 ・製造、保管、納入等の衛生管理状況を確認できた業者の選定、納入受入れ ・については、生産者納入組織であるJ A仙台多賀城支店直売会学校給食部会と連携を密にした地場産野菜等、食材の安全性の確保 <p>※地場産野菜等の13品目 人参、ねぎ、キャベツ、大根、白菜 きゅうり、にら、小松菜、ほうれん草 カット南瓜、むき玉ねぎ、むきじゃがいも 味噌</p>	食材調達費 265,120千円	<ul style="list-style-type: none"> ・調理等業務及び食材発注業務を委託しているが、栄養士等が献立を作成し、食材の発注、検収、調理等業務を指導、監督し、適正に業務執行がされ、給食を提供した。 ・地場産野菜については、天候不順による生育不良等で出荷数量の確保ができない等の理由により、地場産使用率が減少しているが、地場産野菜類の納品規格特例緩和を継続しながら、食材として積極的に取り入れた。 <p>(参考)</p> <p><学校給食における地場産使用状況>単位kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>使用量</th> <th>地場産量</th> <th>使用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>79,902</td> <td>21,096</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>71,065</td> <td>19,563</td> <td>27.5%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>72,669</td> <td>17,582</td> <td>24.2%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	使用量	地場産量	使用率	H25	79,902	21,096	26.4%	H26	71,065	19,563	27.5%	H27	72,669	17,582	24.2%
年度	使用量	地場産量	使用率															
H25	79,902	21,096	26.4%															
H26	71,065	19,563	27.5%															
H27	72,669	17,582	24.2%															

<p>・食に関する指導:学校、家庭、地域等と連携により、児童生徒の食に関する知識の習得、望ましい食習慣への意識、食育の推進（ホームページの活用、広報「多賀城」への掲載、食育だよりの発行と地域回覧の実施）</p>	<p>栄養指導 1,195千円</p>	<p>児童生徒に望ましい食習慣について知識を広めることができた。 学習したことを日常生活において習慣化させるためにも、保護者に伝わる工夫をしながら食育の推進に務めた。 <平成27年度> ○食に関する指導 (単位:クラス)</p> <table border="1" data-bbox="914 432 1453 645"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>107</td> <td>52</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>実施学級数</td> <td>85</td> <td>39</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>給食実施学級数</td> <td>22</td> <td>13</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	小学校	中学校	合 計	学級数	107	52	159	実施学級数	85	39	124	給食実施学級数	22	13	35
区 分	小学校	中学校	合 計															
学級数	107	52	159															
実施学級数	85	39	124															
給食実施学級数	22	13	35															
<p>・施設、設備を維持するため、日常点検及び保守点検を徹底するとともに、設備等の長寿命化を図るため計画的に設備等を更新</p>	<p>21,442千円</p>	<p>開所後14年が経過し、突発的不具合箇所や点検時指摘箇所が多数発生している状況にあるため、計画的な設備の維持、修繕と設備の長寿命化を図るため、平成25年度に策定した設備等更新計画に基づき、平成26年度から実施した。今年度においては、設備等更新計画の見直しを行い、平成29年度から実施することとした。</p>																

(4) 開かれた、特色ある多賀城らしい教育の推進

○ 「史都 多賀城」にふさわしい歴史と伝統、文化を尊重し、郷土を愛する学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<p>・副読本を活用した地域素材を生かした授業実践 ・教職員を対象とした副読本活用研修会の実施</p>	<p>700千円</p>	<p>・教職員を対象とした副読本「わたしたちの多賀城」（デジタル版）活用研修会を実施し、授業での副読本の活用が促進され、子どもたちの多賀城市への理解が深まった。</p>

○ 多賀城を知り多賀城を語れる児童・生徒の育成

事業概要	決算見込額	評価等
<p>・学年ごとに、多賀城市（地域）から学ぶ「調べ学習」や「体験的活動」を行い、その内容を新聞やレポートにまとめ、お互いに発表</p>	<p>総合的な学習の時間 418千円</p>	<p>・多賀城市について調べたことを発表したり、聞いたりしたことによって、多賀城市への理解が深まった。</p>

○ 保護者、地域及び関係機関との連携・融合による学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<p>・地域の方々をコミュニティ・ゲストとして活用する授業の展開 ・学校便り等の配布や回覧による保護者や地域に対する学校情報の発信 ・夜間の学校開放講座の実施 ・児童・生徒の万葉まつりや短歌・俳句大会への参加への働きかけ</p>	<p>総合的な学習の時間 418千円</p>	<p>・児童・生徒の地域に対する理解が深まった。 ・学校の教育活動に対して、保護者や地域の方々の関心が高まり、理解も深まった。</p>

○ 時代の変化に対応する児童・生徒を育てる学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<p><国際理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの英語活動等を通しての交流活動と異文化理解 ・ユニセフ募金活動 ・外国人やJICAとの国際交流 <p><福祉活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬体験、車いす体験、点字体験、手話体験 ・キャップハンディ体験 ・老人福祉施設訪問 ・募金活動 <p><いじめ対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市いじめ防止基本方針の策定 ・いじめ防止等への組織的対応のため、関係条例等を制定 	<p>外国語活動指導支援事業 18,576千円</p> <p>総合的な学習の時間 418千円</p> <p>215千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語や異文化を体験することで英語や外国の文化に対して興味・関心が高まり、コミュニケーション能力の向上が図られた。 ・様々な体験を通し、障害について考えることで、障害者に対する思いやりや優しい心を育むことができた。 ・いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題専門委員会を設置して、いじめの未然防止に努めた。

○ 保護者、地域の信頼に応える学校づくり

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての小・中学校における教職員による自己評価と生徒・保護者による学校関係者評価の実施と評価の結果の公表 ・学校評議員の授業参観、行事参観、懇談会の実施 ・区長、民生委員の方々と教育活動に関する懇談会の実施 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動に対して概ね一定の評価を得ることができた。 ・学校評議員に授業等を参観いただき、学校運営に対する建設的な意見をいただくことができた。

(5) 安全でうるおいのある学校教育環境づくりの推進

○ 安全で安心して学ぶことのできる教育施設の整備

事業概要	決算見込額	評価等
<p>■ 小学校環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等計画修繕 ・パソコン等借上料 ・学校用備品購入費 	5,690千円	・平成28年9月に完了済みである。
<p>■ 中学校環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設等計画修繕 ・パソコン等借上料 	3,125千円	・平成28年9月に完了済みである。
<p>■ 城南小学校校舎大規模改造事業(長寿命化改良工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校舎の長寿命化を図る工事(Ⅱ期) 	670,459千円	・平成29年3月上旬に完了予定である。

○ 安全教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における年2回以上の避難訓練の実施 ・災害を想定した保護者の方々への児童引渡し訓練・集団下校訓練 ・警察やPTAによる防犯教室の実施 ・不審者情報の発信（お便り・電子メール） ・携帯電話教室等の実施 ・みやぎ防災教育推進事業による、「みやぎ防災教育副読本」と「多賀城市防災教育副読本資料集」を活用した授業実践とカリキュラムの構築 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒、保護者、教職員の防災・防犯に対する意識向上に役立っている。 ・東北大学災害国際研究所をはじめ、多くの関係機関の協力をいただきながら、内容の充実した防災副読本（資料集）を作成することができた。 ・防災教育を通して生徒、保護者及び地域住民の防災意識が高まっている。

○ 主体的な学びに対応できる学校図書館の充実と活用

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・国語科学習と関連を図った読書の奨励 ・図書館便りの発行や課題図書等を紹介 ・朝読書の実施 ・市立図書館との連携 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館を利用する児童・生徒が増え、読書に親しむ心が培われてきた。 ・市立図書館との連携により、「調べ学習」に活用できる本が増えた。

○ より良い環境を創造する態度を育てる環境教育の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・児童会・生徒会を中心とした省エネルギー、省資源、リサイクルの活動の実施 ・校内緑化活動、公園の清掃活動を実施 ・学校ISOへの取組 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を守ろうとしたり無駄をなくそうとしたりとする意識が高まってきた。

2 生涯学習の振興

(1) 講座や学習内容の充実

○ 市民のライフステージに対応した生涯学習・社会教育事業の実施

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭における教育の大切さを伝える家庭教育事業の開催 ・保護者が集まる機会を活用して家庭教育の大切さを考える機会を提供 	180千円	<ul style="list-style-type: none"> ・多賀城市立小中学校10校すべて（東豊中学校と多賀城東小学校は共催）で9回の家庭教育に関わる講演会や研修会を実施した。 ・実施内容の内訳は、食育が2件、子育てに関わるものが7件であった。 ・就学時検診、入学説明会の機会を活用して実施した学校では、対象者の90%を超える参加があった。

○ 今日的な社会課題や生活課題に対応した生涯学習・社会教育事業の実施

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・東北学院大学と連携して講座を開催し、社会教育の場を提供 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・春期は「生活を豊かにする知識あれこれ」をテーマに8講座延べ425人、秋期は『IT・インフラ』が拓く安全・安心な社会」をテーマに5講座延べ223人の参加があった。 ・終了後のアンケートには、春期は85%、秋期は80%の参加者が、「大いに満足」「だいたい満足」（5段階評価の4以上）と答えた。

(2) 学校・家庭・地域の連携協力による協働教育の推進

○ 学校支援地域本部事業の新たな構築、放課後子ども教室事業の新たな実施

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が共に連携して、地域の子どもたちを心豊かに育むことを目指し、東豊中学校区と第二中学校区、多賀城中学校区において、学校支援地域本部事業を実施 地域本部には、コーディネーターを配置し、学校の求めに応じて地域のボランティアによる学校を支援する様々な活動を実施 	950千円	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4中学校区全てで事業を開始した。協働教育の理念のもと、地域の様々な能力・知恵を持った方々にも学校教育活動に参加していただいたことで、学校教育活動の充実と子どもたちの健やかなる成長が図られてきている。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を利用して、放課後に子どもたちが安心して安全に過ごせる居場所を設け、地域住民と交流することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進 	8,500千円	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6小学校全てで事業を開始した。参加申し込み者が市内児童の2割を超えていて、安心安全に学習やスポーツ等が行える場所として、児童や保護者間で認知されてきている。（多小95人・八幡小102人・東小82人・山王小130人、天真小110人、城南小164人） ・協働教育の理念のもと、運営は地域の方々の参画を得て実施しており、子ども

		たちの活動を支えるスタッフも増加している。
--	--	-----------------------

○ 青少年健全育成の啓発

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育、児童福祉その他関係機関と連携し、青少年や保護者等からの相談対応 ・補導員の街頭巡回指導を実施 	3,107千円	<ul style="list-style-type: none"> ・こども専用のフリーダイヤルを設置、市内小中学校の児童生徒に相談カードを配付し相談に対応している。 ・保護者等からの電話相談又は面接相談にも随時応じ、相談者の悩みや心配事を聞き、適宜支援を行った。 ・補導員が1週間に3回程度市内を巡回指導し、非行の減少に努めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成多賀城市民会議で、市内の青少年育成関係者をはじめ市民と連携し、青少年問題の重要性を再確認し、青少年の健全育成を目的とする事業を実施 ・少年の主張及び青少年健全育成研修会の開催 	330千円	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校を会場とし「少年の主張」の発表を行った。 ・多くの生徒や市民に対し青少年問題について一考してもらおう契機となった。

○ 地域コミュニティを活用した市民創造型社会教育事業の推進

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・各行政区に設置している社会教育振興員が中心となり、社会教育振興事業を実施 	2,042千円	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に応じた事業を実施。事業企画の段階から市民自ら関わるため、参加者の満足度も高く、コミュニティづくりの重要なツールとなっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・成人を祝い励ますため、市民手づくりによる成人式を開催 	428千円	<ul style="list-style-type: none"> ・市内4中学校代表によって成人式実行委員会を組織し、成人式の企画、運営を行った。実行委員会を組織することにより、毎年独自の式典となっており、参加者の満足度も高い。

○ ジュニアリーダーとインリーダーの支援育成

事業概要	決算見込額	評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・年少リーダーを育成するため、ジュニアリーダー初級研修を開催 ・ジュニアリーダーサークル「エステバン」を支援・育成 	481千円	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会や市主催の子ども対象事業への会員派遣、近隣市町との交流事業、サークル主催事業等に取り組むことで、サークルの認知度が高まり、活動を理解し応援する市民が増加した。
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動への主体的な参画や、ジュニアリーダーとしての地域奉仕活動等を担える次世代リーダーの育成を目的とした研修会（インリーダースクール）を開催 	42千円	<ul style="list-style-type: none"> ・小学4～6年生を対象に、自然に親しみながら仲間との交流を深める研修会を実施したことで、参加者の多くが、これを機にジュニアリーダーに関心を持ち、活動している。

○ 大代地区公民館の地域コミュニティ拠点化計画に基づいた事業

事業概要	決算見込額	評価等
・管理運営を地域自治組織に託すことにより、行政と住民の協働によるまちづくりを推進	23,974千円	・地域課題解決のための学習活動や実践活動等、より一層地域住民のニーズを反映したサービスや事業が展開されている。

(3) 読書活動の充実

○ 市立図書館、分室、移動図書館の充実と学校図書室の連携強化

事業概要	決算見込額	評価等
・本館と各分室でのボランティア団体による読み聞かせ会の実施、及び図書館の各種行事への参加、協力依頼	—	・定期的な読み聞かせ会の開催やおはなし会を実施し、図書館利用の拡大と市民の読書への関心を高めた。 ・公募で毎月市民の作品展示を行い生涯学習・社会教育活動の動機付けとなっている。

○ 第二次多賀城市図書館基本計画の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・市民の参加・協力により地域を支える図書館としての機能を充実する。 ・次代を担う子どもの総合的な学習支援として効果的な学習及び職場体験の支援を実施する。	—	・世代や性別を問わず、より多くの市民が集まる環境づくりを行い、成果をあげた。 ・市内の中学校等から職場体験の依頼を多数受け、図書館の資源を生かした学びの場を提供し、学校とともに子どもたちのキャリア教育の支援を行うことができた。

○ 子どもの読書活動の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・第3次多賀城市子ども読書活動の推進計画に基づき、子どもの読書活動の推進を目指す。 ・家庭・学校等との連携により読書への理解を深め、読書活動を推進する。 ・市内各小学校6校、中学校4校へ図書館から司書を派遣し、学校図書室に市図書館コーナーを設置し貸出しを実施。	—	・関係各機関がそれぞれ読書活動の推進に向けての取組を実施している。 ・市内の全ての小学校・中学校で読書活動の支援を行い、児童・生徒の読書活動の定着が図られつつある。

(4) 団体支援等

○ 生涯学習、社会教育活動団体の運営及び活動支援

事業概要	決算見込額	評価等
・団体への補助金交付のほか、事業支援を行う。	4,890千円	・市民団体の活動を活性化することができた。 事業支援団体：父母教師会連合会(86千円)、青少年健全育成市民会議(330千円)、子ども会育成連合会(300千円)

		円)、芸術文化協会(283千円)、婦人会連合会(210千円)、生涯学習100年構想実践委員会(1,971千円)、万葉まつり実行委員会(1,710千円)
・生涯学習関連施設の利便性向上及び安全性確保に伴う整備を実施する。	2,325千円	・施設・設備の老朽化に対応し、緊急を要する設備の修繕を行った。

3 スポーツの振興

(1) スポーツ機会の充実

○ 総合型地域スポーツクラブの理念に基づくスポーツレクリエーション活動の振興

事業概要	決算見込額	評価等
・市民の健康の保持、増進や地域内でのコミュニティ形成の寄与等、行政の責務として行う社会体育事業を(特活)多賀城市民スポーツクラブに委託し実施する。	—	・地域コミュニティの活性化を目指した市民スポーツ大会(4競技)や指導者派遣事業を実施し、スポーツによる地域コミュニティの活性化を図った。

○ 市民が参画し主体となるスポーツ推進体制の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・各地区にスポーツ振興員を委嘱し、市主催のスポーツ大会行事を中心に行政区内の市民に対し、参加の積極的啓発を行う。 ・体育協会への支援育成を行う(補助金による財政支援)。	1,871千円	・スポーツ振興員の委嘱を再開し、市主催のスポーツ大会を始め各種スポーツ行事への参加啓発を行った。 ・体育協会加盟団体の支援育成に努めた。

○ 教室講座、事業の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・地域スポーツの拠点である市内10校の学校体育施設を積極的に開放する。 また、学校開放の申請受付、管理運営等については、市民サービス向上の観点から、スポーツ関係窓口を一元化することとし、多賀城市民スポーツクラブに委託している。	578千円	・市民の身近な施設として生涯スポーツ活動や地域コミュニティ活動の拠点となっている。

○ 見るスポーツ、サポート活動の振興

事業概要	決算見込額	評価等
・第36回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クイーンズ駅伝)を開催	108千円	・88名が市民ボランティアとして参加したほか、トップアスリートを沿道で多数市民が応援した。

(2) 社会体育施設等の環境整備

○ 施設・設備の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・体育施設及び有料公園施設は、指定管理者による第4期(平成28年度から平成32年度)の管理経営	117,213千円	・施設・設備の老朽化により、施設管理費は年々増加する一方であるが、指定管理者の持つ独自の管理運営努力及

		び事業のノウハウを生かし利用者サービス向上に努めた。 ・多賀城公園野球場は、平成23年5月から引続き仮設住宅地となっている。
--	--	---

○ 地域に根ざしたきめ細かなスポーツサービスの充実

事業概要	決算見込額	評価等
・地域のニーズを踏まえた社会体育事業の実施	—	・体育施設等の利用者の利便性向上を図りながら、地域や企業のニーズに応え、指導者を派遣する事業等を推進することができた。

(3) スポーツ団体の支援

○ 総合型地域スポーツクラブである多賀城市民スポーツクラブとの連携協力

事業概要	決算見込額	評価等
・市民スポーツ社会の形成のため、体育施設等の指定管理者である多賀城市民スポーツクラブと連絡調整を行い、各種事業を展開	—	・研修の機会を含め、事業実施に当たっては十分な意見調整し、実施計画を実行できた。

○ 体育協会、スポーツ少年団等の育成支援

事業概要	決算見込額	評価等
・団体への補助金交付のほか、事業を支援	—	・スポーツ関係団体の交流とサポート体制を強化する事ができた。 支援団体：体育協会(1,000千円)

○ 団体間交流の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・市内のスポーツ団体の交流のほか、友好都市の天童市をはじめ、県内外の団体との交流を実施	—	・地域に根ざすスポーツ少年団を含むスポーツ団体の交流や、武道等を通じた交流の場を提供できた。

4 芸術文化の振興

(1) 市民の教養と豊かな情操を培うための芸術鑑賞機会の提供

事業概要	決算見込額	評価等
・平成23年度から文化センターの運営管理に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウとネットワークを活用した質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供 ・教養と豊かな情操を培う芸術文化鑑賞の機会を充実	118,354千円	・指定管理者の持つ独自の管理運営努力及び事業のノウハウを活かし、質の高い芸術文化事業の提供に努めた。 ・事業参加者からは満足傾向の声が寄せられている。

(2) 市民が行う芸術文化活動の支援

事業概要	決算見込額	評価等
・第35回多賀城市民音楽祭の開催 (中央公民館)	708千円	・出演団体 25団体 入場者数 1,268名

		・今年度は友好都市の天童市から天童混声合唱団の特別出演や文化センター指定管理者によるサークルフェアの同時開催などを実施し、にぎわいを演出できた。
・音楽まっりの開催（大代地区公民館）	68千円	・出演団体 4団体 入場者数 220名
・クリスマスコンサートの開催（山王地区公民館）	35千円	・参加団体 4団体 入場者数 250名
・音楽愛好者同士の情報交換組織の設立	—	・市内で活動する音楽関係の個人や団体がそれぞれの活動のPRとサポートのための情報交換連絡網を組織した。情報の共有化により地域間交流事業に参加する等活動の場を広げることができた。 参加組織・団体 15団体

(3) 市民参加型事業の創出

事業概要	決算見込額	評価等
・文化センターまっりの開催	893千円	・利用者で組織する文化センター利用団体協議会が運営し、3月4日から3月6日に開催する予定。
・大代地区公民館まっりの開催	—	・利用者が中心となり、実行委員会を組織して、公民館まっりの企画運営を行い、10月18日に開催された。
・山王地区公民館まっりの開催	—	・利用者が中心となり、実行委員会を組織して、公民館まっりの企画・運営を行い10月2日に開催されたまっりには341名が来館した。

5 文化財の保存と活用

(1) 特別史跡の公有化及び史跡地内の維持管理

○ 将来に継承する特別史跡の保存、管理、活用

事業概要	決算見込額	評価等
・特別史跡内の用地買収 ・特別史跡内等及び市指定文化財の保護管理 ・特別史跡の維持管理業務	54,000千円 26,009千円 1,432千円	・特別史跡の公有化を進めた。 ・公有化した土地の除草、清掃、樹木管理及び施設管理に努めた。 ・特別史跡内未整備地を活用し、地域、学校との連携の下、体験学習を行った。また、指定地の一部の維持管理業務を地域住民に委託したことにより、地域との連携が図れるようになった。

(2) 多賀城跡建物復元整備計画の推進

○ 歴史学習の拠点となる多賀城跡建物復元事業の推進

事業概要	決算見込額	評価等
・多賀城南門等の復元整備	37,637千円	・多賀城南門等復元整備検討委員会議を開催し、多賀城南門跡の発掘調査成果をもとに復元建物等の検討を行い、調査成果に基づく復元案を作成した。

(3) 文化財保護意識の普及啓発

○ 市民と一体となった文化財保護意識の普及啓発

事業概要	決算見込額	評価等
・文化財関係団体の支援	623千円	・多賀城史跡顕彰会、多賀城太鼓保存会、多賀城鹿踊保存会、大伴家持顕彰会の活動を支援した。
・文化財の普及啓発活動	4,575千円	・速報展、企画展や遺跡調査報告会を実施するとともに、市内小・中学校及び市内各種団体への出前事業を実施し、文化財への関心を高めた。

(4) 発掘調査の実施と保存活用の推進

○ 本市の歴史の根幹をなす埋蔵文化財の調査、保存、活用

事業概要	決算見込額	評価等
・埋蔵文化財緊急調査事業	38,769千円	・埋蔵文化財包蔵地内における各種開発に対して発掘調査を実施し、出土品の保全を図るとともに、本市の歴史資料を将来展示等で活用するため、写真資料等のデジタル化を行った。 また、震災からの早期復興のため、住宅再建、区画整理事業等に伴う発掘調査を実施した。
・埋蔵文化財調査受託事業	75,549千円	
・出土品等整理保存事業	3,508千円	
・調査資料デジタル化事業	605千円	
・埋蔵文化財保存活用整備事業	1,001千円	

(5) 埋蔵文化財調査センター体験館（多賀城史遊館）の管理運営

○ 考古・民俗資料等の展示並びに体験学習の充実

事業概要	決算見込額	評価等
・埋蔵文化財調査センター体験館の運営	4,312千円	・歴史的体験学習を実施するとともに、農家の四季を民俗資料で構成した展示コーナーの新設により、考古資料による通史展示と合わせて、本市の歴史を通観できるようになった。

(6) 歴史遺産の保全

○ 文化遺産活用活性化事業

事業概要	決算見込額	評価等
・被災文化財を含めた地域の歴史遺産を総合的に把握	80千円	・中・近世の供養碑について、拓本採取、石材鑑定等の調査を実施した。